

適用題を効果的に使っていただくために

「プロジェクト研究」小学校国語科教育研究委員会では、適用題を「児童が単元を通して身に付いた力(指導事項)を活用して解く問題」として研究を進めてきました。本研究では、児童が単元を通して身に付いた力を活用することができ、教師が児童に身に付けさせたい力を確かめることができるような適用題の作成に取り組んでいます。

本研究で提案している適用題は、各学級で取り組む言語活動や授業の進め方によっては、そのまま使っていただくことが難しい場合があります。適用題や適用題作成準備シート(学習課題、言語活動、単元計画など)の内容を確認していただき、必要に応じて、紹介している適用題を学級の実態に応じて調整してお使いください。



◇◇◇ 適用題作成準備シート ◇◇◇

学年(5 年) 教材文「大造じいさんとガン」(光村図書5年)

ステップ
1

- ・ 児童に身に付けさせたい力を確認する (学習指導要領・教科書)。
- ・ 身に付けさせたい力を付けるためにふさわしい言語活動を設定する。

□児童に身に付けさせたい力

表現の効果について自分の考えをまとめる力

□身に付けさせたい力を付けるためにふさわしい言語活動

「おすすめしたい！表現の効果」を書く

ステップ
2

- ・ 学習課題を設定する (指導事項・思考操作・言語活動)。
- ・ 単元の指導計画を立てる。

□学習課題

A:身に付けさせたい力 (指導事項)

表現の効果について自分の考えをまとめることができる

B:思考操作

手掛かりとなる表現について、その表現と別の表現を比べたり、その表現がある場合とない場合を比べたりする

C:言語活動

「おすすめしたい！表現の効果」を書く

【児童に提示する学習課題】

この単元では、表現の効果について自分の考えをまとめることができるようになる学習をします。

課題は、手掛かりとなる表現について、その表現と別の表現を比べたり、その表現がある場合とない場合を比べたりして、「おすすめしたい！表現の効果」を書くことです。

□単元の指導計画

(8) 時間

時間	主な学習活動
1	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しを持つ。 ・学習課題を知り，学習計画を立てる。
2～6	<ul style="list-style-type: none"> ・物語の設定を確かめ，構成と内容を捉える。 ・教材文中から一つの表現を取り上げ，その表現と別の表現を比べたり，その表現がある場合とない場合を比べたりして，表現の効果について全体で考える。 ・表現の効果が表れている文を選び，その表現と別の表現を比べたり，その表現がある場合とない場合を比べたりして，表現の効果について自分の考えをまとめる。(自由交流，グループ交流) ・見つけた表現の中からお気に入りの表現を3つ選び，カードに書く。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・「おすすめしたい！表現の効果」を友達と交流し，感想を伝え合う。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を振り返る。
※適用題の実施	

ステップ
3

・適用題を作成する。

□適用題の内容

教材文「ごんぎつね」を使って，(表現の効果について自分の考えをまとめる) 言語活動の場面を想定した問題です。

※「ごんぎつね」の教材文中から示した文の中から一文を選び，その文中にある表現の効果について自分の考えを書きます。